

6・11「職業がんをなくそう集会」へのご参加のお願い

若葉萌え、藤花の彩りが楽しみな頃合いになりました。

さて、昨年来、福井県の芳香族アミン類の曝露による職業性膀胱がん多発事案が問題になっていますが、これはごく一部の化学会社に限られたことではありません。

日本においては、発がん性物質についての情報が末端の労働者（消費者も同様）へと適切に伝わらず、曝露が繰り返され数十年の潜伏期間を経て、職業がんが多発する事案が発生しています。その後、特定の化学物質に対して法規制がされますが、類似の化学物質や規制対象外の化学物質の有害情報が労働者に伝わらず、忘れたころに被害が発生するという構図が繰り返されています。これは予防に重きを置いてこなかった労働行政に問題があると言わざるを得ません。

疫学研究から言えることは、日本では毎年1.5～3万人の人が職業がんで死亡しており、その殆どは有害物質への曝露に原因があるとされていますが、あらためてその数の多さに驚きを隠せません。それに比して対策の遅れと国民の問題意識の低さに対し、何とかしなければという思いは募るばかりです。

そんな思いを受け、この問題を継続的に取り組んでいこうと職業がん患者と家族、曝露者、専門家、支援者が集い「職業がんをなくす患者と家族の会」を立ち上げる運びとなりました。

6月11日に開催します『職業がんをなくそう集会』は、専門家による基調講演に始まり、職業がん認定裁判（石橋事件：職業性膀胱がん患者に発症した口腔がんの労災認定事件）の総括総会へと続き、職業がんをなくす患者と家族の会の結成総会（三星化学工業ほか複数の化学会社の職業がん患者も参加）で予防を重視した職業がん対策を進めるよう活動していくことを確認します。

報道関係者におかれましては、是非とも本集会にご参加いただき、予防に重きを置いた職業がん対策への取り組みに光を当てていただきたく思っております。

お忙しい中かと存じますが、ご参加のほど重ね重ねお願い申し上げます。

石橋良信さんの職業がんを認定させる会
職業がんをなくす患者と家族の会準備会
<https://ocupcanc.grupo.jp>

連絡先
化学一般関西地方本部
TEL 06-6647-3481